

ないことを理解していただくことに、とても苦勞をしました。たとえ社会に良い活動でも、継続しなければ意義はないので、無償というわけにはいきません。また、就職支援では、求職中の人や学生から相談料をいただくわけにはいかず、ビジネスの継続方法にも苦勞しました。一方で、その苦勞や悩みをどのように解決していくか、仲間で見聞やアイデアを出し合い運営していくことに、面白さや喜びを感じました。

就職支援事業では、求職者（相談者）と求人企業の二者が合致しないときは多々あります。しかし、ずっとサポートしてきた相談者から「就職が決まりました！」この言葉をいただいた時は何より嬉しく、この活動をしていて良かったと思う瞬間です。



「その人らしく働く」ために大切なことは何だと思えますか。

私は、①自分はどうのように働きたいか、どのような職に就きたいか、と自分で考える「自立力」、②家庭や社会など周りとのバランスを取る「調整力」、③一人で抱え込まず困ったときは周りに頼る「甘え力」を持つて仕事に取り組みむことが、その人らしく働くことだと考えます。

就職しても、自立、調整、甘えがでないために、退職する人を多く見てきましたので、この3つの力を養うことがとても大事だと思います。

今後、どのように活動を展開されたいですか。

まず、キャリアコンサルティングを職場に導入していきたいです。求職中の人だけでなく、在職中の人の悩みを解決することが、職場への定着や一人ひとりの成長に繋がると考えています。社長と社員の懸け橋になることで、企業の成長・発展のお手伝いができたらと思います。

次に、ワークシェアを普及させたいです。本来、一人でできる仕事を複数人でシェアし、その人たちが話し合いながら自分でシフトを組んでもらい、働

きやすい環境を作り、雇用を増やすことが目的です。

就職セミナーやキャリアカウンセリングを継続していくうちに、マスコミにも取り上げていただき、仕事として徐々に認知度が上がり、依頼も増えました。しかし、就職支援の活動としてはまだまだ認知度が低いので、より多くの人

に知っていただく取り組みを行います。

最後に、ここまで進んで来られたのは、たくさんの方との繋がりが応援、支えがあったからです。このことに感謝するとともに、これからも法人として、人間として成長し、山口県で役に立てるような活動をしていきたいです。

（取材：金田、藤本）



やまぐち
ネットワークエコー

代表

にしやま かよこ
西山 香代子さん

働く現役世代を応援したい

誰もが人生を自己決定できる「男女共同参画社会」をめざし、シニアが若い世代を支える社会づくりを進めています。

活動のきっかけや内容について教えてください。

私は、高校で教員をしており、部活

の顧問もしていました。子育てをしながら仕事をするのはかなりハードだったため、「教員の代わりはいても親の代わりはない」と自分に言い聞かせて仕事